

噴火山上に舞踊しつゝある

久之濱町民

最も關心を要するの秋

「採る濱に漁がなし」と年に建造した、古人も誨を垂れて居る。久其經營者漁業者として有之濱は今採て居る、而も採名新妻雄一君に一任する操網を中心に、金を返せぬことになり九月度より新妻を返せと、又一方では其對其の手に依り出漁した、而も策を講じ双方對峙の状態にして九年の漁獲高が一萬五ある、権利だから主張する千圓と云ふ不漁に漁業者と云つて相手の事情も斟酌し納入すべき水揚高の二せねは其處に反抗心を擦頭五分と手數五分の過意金せしむる、又義務者も權利約四千圓に嵩んだ、依て漁者對しては何時も誠意を業組合側にては契約の通り披露すべきである、然るに至急に入金せよ、返らせよ、相反目することは對抗では一切の揚網を返還せよ、そのなれば權利も義務も迫り新妻君の方には只も五分／＼になつて有利の一年の經營であり剩さい事のみを講ずる、斯くなれ出漁當時より不備品の補充ば道徳もなく強に法律に依りて金も相當か、且つつて可直の年の儘になる外不漁の爲め四千圓と云ふ約はないのである。

將來は將に暗黙たるもので表者である、今回の問題に對し町長の意見を叩けば、場より見るに漁業組合側の私はこの鍋の中に入りませぬ、中正な意見と製菓は意中の水揚も帳面上の事で何れも萬五千圓の水揚で其六割を、反面新妻君の言分もに盡して居ります、只今の處水揚高の二割五分と五分は組合の幹部連と新妻君とい組合として幾千圓の出を見れば何人も私の心持に手數と乗込員の三割の手の意志の疎隔も相當手傳つ漁準備金迄貸與してあるの共鳴出来ることと思ふ、組の千圓の支拂となればは私にある事で私自身としては計算がある、要は組合過意金は四千圓になつて千五百圓で買入した、夫れ天引の支出となり四千圓のては計算がある、要は組合過意金は四千圓になつて千五百圓で買入した、夫れ金にて總ての經費に充當するとして町として回収が居る夫れ不漁だから金が久之濱に水揚せぬ事は漁業を講じ双方對峙の状態にして九年の漁獲高が一萬五ある、権利だから主張する千圓と云ふ不漁に漁業者と云つて相手の事情も斟酌し納入すべき水揚高の二せねは其處に反抗心を擦頭五分と手數五分の過意金せしむる、又義務者も權利約四千圓に嵩んだ、依て漁者對しては何時も誠意を業組合側にては契約の通り披露すべきである、然るに至急に入金せよ、返らせよ、相反目することは對抗では一切の揚網を返還せよ、そのなれば權利も義務も迫り新妻君の方には只も五分／＼になつて有利の一年の經營であり剩さい事のみを講ずる、斯くなれ出漁當時より不備品の補充ば道徳もなく強に法律に依りて金も相當か、且つつて可直の年の儘になる外不漁の爲め四千圓と云ふ約はないのである。

ハリスク
堂生資
町濱名小
番七四一話電

木村久之濱
町長は信念に充
木村町長は漁業組合長を新妻吉之助君理事と交々語る

久之濱漁業
組合側 専務理事
新妻吉之助君理事と交々語る

雄一君は語る
經營者新妻
往年の大漁漁場經營者と意見に從ふ事が双方の策を往年の大漁漁場經營者と意見に從ふ事が双方の策を往年の大漁漁場經營者と意見に從ふ事が双方の策を

漁業組合が町の保證を受け九月一月から揚網漁業の莫大な借金をして經營する常事者として其衝に當つてことになつたのは、衰退の居る何を云ふにも初一年の一路を通る本町を光道に引爲め準備も整はず所業者直すのが目的なのだ、然らしての予程度であつたば勢めて水揚も久之濱に故に漁獲も一般より劣つて一般製造家小商人に一萬五千圓と云ふ数字しか迄其の利潤に溶せしめねば現なかつた爲に組合に支拂ならぬ、然るに新妻君はふべき約束金が四千圓ばかり水揚も他の漁港にのみならず過意した、夫れは私の横町長、柳井村長は關係有力にして初めて、此の大事業者と全身真心を以て説得に完成するものと町村民努め殆ど舉村的賛成の下には今更感謝の意を表して居る、加ふるに工事請負人右の起債認可を申請中の處何を築きつゝあり、不惑たるれも認可指命に接し去る十働盛の年輩の氏は郷土出身一月中旬起工、校舍五間半なるところから奉仕的請負の四十七間附屬建物便所廊下、献身的仕事は小學下等は既に竣工、講堂は九校として縣下に於ても立派洋館と云ふ文藝的建物にて年を一般から期待されて度内三月末迄には落成と開因に總工費三萬二百圓なり、其間木村、柳井兩町村と。

久之濱高等小學校増築
工事順潮に進展
木村町長の精力絶倫
久之濱小學校増築問題は長の努力奮闘は文字通りで永年の宿題なりしが兒童教育縣廳の諒解に關係方面の説育を本意として居る、木村町長に、精力絶倫の面町村長者と全身真心を以て説得に完成するものと町村民努め殆ど舉村的賛成の下には今更感謝の意を表して居る、加ふるに工事請負人右の起債認可を申請中の處何を築きつゝあり、不惑たるれも認可指命に接し去る十働盛の年輩の氏は郷土出身一月中旬起工、校舍五間半なるところから奉仕的請負の四十七間附屬建物便所廊下、献身的仕事は小學下等は既に竣工、講堂は九校として縣下に於ても立派洋館と云ふ文藝的建物にて年を一般から期待されて度内三月末迄には落成と開因に總工費三萬二百圓なり、其間木村、柳井兩町村と。

後任町長問題は
江名町將來の尺度として
町民の慎重は深刻だ
江名町の町長改選期は三氏の對峙は十日の視る處一月十五日に切迫して居る。様であらう、然らば太、江二月末迄には此決定を見る尻の雲行きは如何となれば二月末迄には此決定を見る尻の雲行きは如何となれば二月末迄には此決定を見る尻の雲行きは如何となれば

格安 桐タンス、洋服タンス、茶棚、長火鉢、銅古、鐵瓶、應接用組椅子、本箆機、テール、座敷用草、等
◎其他何れでも市價より安くキットお氣に召します

東京 歐米式 舊正月三日まで
丸和 十ヶ月掛

蓄音器と毛織物奉仕
蓄音器 十、十五、二十、二十五、三十、三十五、四十、四十五、五十、五十五、六十、七十五、九十、百、百五十、二百、二百五十、三百、三百五十、四百、四百五十、五百、五百五十、六百、六百五十、七百、七百五十、八百、八百五十、九百、九百五十、千、千五百、二千、二千五百、三千、三千五百、四千、四千五百、五千、五千五百、六千、六千五百、七千、七千五百、八千、八千五百、九千、九千五百、一萬、一萬五千、二萬、二萬五千、三萬、三萬五千、四萬、四萬五千、五萬、五萬五千、六萬、六萬五千、七萬、七萬五千、八萬、八萬五千、九萬、九萬五千、十萬、十萬五千、二十萬、三十萬、四十萬、五十萬、六十萬、七十萬、八十萬、九十萬、一百万

保有效 快鼻湯

効 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多増症、頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり、其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります
快鼻湯製造發賣元
警城國中町一丁目

水野藥局
責任製劑者 藥劑師 水野清一

耳鼻科 専門 大和田醫院
本院 平町南町一六
分院 小名濱町仲町
電話一七〇番

耳鼻科 咽喉科 氣管食道科
増田醫院
平町南町一番地
電話四八二
◎入院自炊あり

良品廉賣に勝る商略なし
警城セメント 特約代理店

金物問屋 大釜屋商店
警城平町五丁目
電話九番・九九番
東京警振貯金口座一〇九五六

サコメ球

發賣元 開陽堂藥舖
藥劑師 松崎勤
小名濱銀座街
造讓 (井の玉) 酒銘 義 彰 瀨 長
城林村川玉

白石藥舖
小名濱町中島通り 電話三三番

内山時計店
各國時計各種 小名濱町中島通り
無輪、眼鏡、密音器、ラデオ 附屬品一式 修繕、正、込 電話四十九番

磐城水産工業株式會社
支那人 小名濱町 電話一四四番
三井生命保險株式會社 代理店
大正火災保險株式會社 代理店

清世界

高級製節製造元 馬上與八商店
小名濱町中丁
藥效、娼妓、酌婦 人事周旋業 中村瀧次
小名濱町西町

寶屋藥舖
電話三十九番
小名濱町古港
樋口吳服店
小名濱町中島通り

和久井屋商店
漆器商
電話四〇五番

吉田伴吉商店
福島縣平町字堂前
電話二二五番
東京市京橋區入舟町三三番
電話五七二三番

會田醫院
小名濱町上横町

眼科專門 鈴木眼科醫院
本院 植田町
分院 小名濱町古港

池部齒科醫院
江名町

上田外科醫院
平町南町
電話二二九

平川醫院
江名町 電話二六

宮津醫院
小名濱 電話一四二番

佐瀨醫院
小名濱電話一三五

小名濱眼科醫院
小名濱町

久保田醫院
小名濱町電話二三番

木田齒科醫院
小名濱町電話一〇五

中村醫院
小名濱町電話一八番